

「男の子を育てる」—実践的なアドバイスと励まし—

講演者：ジェイムス・C. ドブソン博士

- ・対象：男の子を持つ両親。男の子と関わる教育関係者（CS教師）。
- ・方法：グループでの鑑賞。
- ・回数：8回

1. このDVDを鑑賞するにあたって

原題名：「bringing up BOYS」

講演者：ジェイムス・C. ドブソン博士

心理学者。アメリカ福音派クリスチアンの指導者。1977年に彼が創立したフォーカス・オン・ザ・ファミリーの代表。

制作/発売元：ファミリー・フォーラム・ジャパン

協力：フォーカス・オン・ザ・ファミリー

DVDの内容：

「男の子を育てる」は、アメリカのキリスト者である心理学者、ジェイムス・C. ドブソン博士による講演の収録です。男の子をどのように育てていけばいいかと悩む両親、教育関係者がこの講演を聞きに集まっています。

ドブソン博士は、この講演の中で、アメリカの当時（2004年）の現状について青少年の自殺の80%、少年法に触れる者の95%が男の子であると報告しています。さらに、薬物依存は男子が女子の3倍、学習障害は6倍等々。これらのことを通じて、いかに男の子が、悩みの中を歩んでいるかを指摘しています。日本の現状は同じではありませんし、環境や文化の違いはあることを踏まえなければなりません。青少年を取り巻く環境は年々アメリカに追随していつているように思えます。また、男の子特有の課題には、多くの共通点があるでしょう。この課題に取り組むための手がかりを見つけるためにこの講演を聴くことは、有益であると思います。

構成は、4つのセッションからなり、さらに4つの章に分かれています。それぞれが10分前後ですので、2つの章を一組として分かち合いのヒントを用意しましたので、併せてご利用ください。講演を聴くだけでなく、さらにグループで分かち合いことによって気づかされ、励まし合い、教えられたことを実践していく勇気が与えられるのではないのでしょうか。

2. 確認コーナー

第1回

(1) セッション1 「深刻な男の子の問題」

1章「男の子の問題」〔10分〕 2章「家庭崩壊」〔8分〕

- ① 男の子と女の子の違いをどのような時感じますか？
- ② 家庭崩壊の影響を男の子が受けやすいと感じたことがあれば分かち合いましょう。

第2回

(2) セッション1 「深刻な男の子の問題」

3章「父親不在の影響」〔9分〕 4章「子どもは仕事より大切」〔8分〕

- ① 父親が男の子の模範になっていないことの影響についてどう考えますか？
- ② 自分自身の子ども時代の父親との思い出について分かち合いましょう。
- ③ 仕事よりも仕事を優先した時の家族の反応で気づかされたことは何ですか？

第3回

(3) セッション2 「心の傷といやし」

1章「虐待を受ける子」〔7分〕 2章「メディアの影響、いじめ、銃撃事件」〔19分〕

- ① 子ども時代のいじめや虐待がどのような影響を残すか話し合いましょう。
- ② あなた、またはあなたの子どもには、そのような経験がありますか。

第4回

(4) セッション2 「心の傷といやし」

3章「大人の責任」〔5分〕 四章「質問と回答」〔19分〕

- ① あなたの子どもが眠れない、摂食障害、いじめなどを経験したことがありますか？
- ② 子どもが傷を受けてつらいときあなたは親としてどのように関わりましたか？
- ③ メディアの影響をどのように考えますか？

第5回

(5) セッション3 「忙しすぎる親たち」

1章「イントロダクション」〔7分〕 2章「父が息子に教えること」〔5分〕

- ① あなたの息子にとって父親はどのような存在でしょうか。
- ② あなたの息子が父親を特に必要としていたと感じた時の事を分かち合いましょう。
- ③ あなたの息子は、父親から何を学んでいるのでしょうか？

第6回

(6) セッション3 「忙しすぎる親たち」

3章「幼児期の大切さ」〔10分〕 4章「家族のために時間を作ろう」
〔13分〕

- ① 幼児期の父親の関わりが大切だということを知りどのように考えたか分かち合いましょう。
- ② 一日の中の大切な四回の中であなたが家にいるのは何回ですか？

第7回

(7) セッション4 「同性愛とは」

1章「イントロダクション」〔9分〕 2章「同性愛について」〔12分〕

- ① 聖書は同性愛をどのようにいちづけていますか？
- ② メディアのゆがみについて分かち合いましょう。

第8回

(8) セッション4 「同性愛とは」

3章「ジョン・ポーク氏」〔13分〕 4章「マイク・ヘイリー氏」
〔16分〕

- ① 男の子が、父親に認められる事が大切であると感じたことがありますか？
- ② 心に残ること、考えさせられたことを分かち合いましょう。
- ③ 男の子が父親から認められる事が大切であると感じることがありましたか？

3. あかしをしよう！

将来を担っていく子どもたち、特に男の子への関わり方について、このDVDから教えられたことについて、他の人にあかししましょう。